



「がんばった自転車大会」

吉田真吾くん

七月七日、第四十一回交通安全
 全子供自転車大会が熊谷ドーム
 で開かれました。

ぼくがこの自転車大会に出場
 しようと決めた理由は、自転車

で速さを競うものだと思っただけです。それはぼくのかん違いでした。
 最初は学科の勉強でした。秩父警察の福島さんが教えてくれました。ぼくはドキドキして、「これは悪い所は見せられない。良い所を見せないと」と思い真剣にやりました。
 何日かたつたある日、体育館に新山さんという白バイ隊員の人がいました。次は技能走行の練習です。家で見た練習ビデオは、本当にこんなことができるとかというほど難しいものでした。新山さんがやり方を教えてくれました。白バイ隊員ですごい！初めは失敗ばかり、二週間頃頃から、二十五秒で通過する場、8の字、デコボコ走行もうまくなり、倒すピンも少なくなりました。練習が楽しくなり、やる気もでて、どんどん上達しました。一番難しかった二枚板乗りがなかなか成功できず、「どうすればいいんだ」と悩んでいた時、警察の人のアドバイスでできたのです。その時はとても嬉しかったです。
 六月の中頃になるとすべての場で成功しましたが、技能走行だけでは大会にでられないのでした。学科のテスト、安全走行もありました。毎日五時までがんばりました。

六月の終わりになって、ぼくはミニバスの大会でけがをしてしまいました。足首のじん帯損傷と言われショックでした。でも、大会一週間前に医者から出場できると言われ、これから一週間全力でがんばるぞと、練習に励みました。
 大会本番は、開会式、学科のテスト、安全走行と続きました。ぼくは、国小では一番に出場します。福島さんやみんなが観客席から応援してくれてもドキドキして、ぼくの緊張は止まりません。スタートです。安全走行はしっかりと声を出し、失敗しないうえにできたので良かったと思いました。終わったら友達みんなが拍手で迎えてくれました。技能走行は午後です。ぼくは、「ぜったい入賞するぞ。」と思い、福島さんの言っていた「強気」でがんばりました。S字は二回ピンは一本失敗、でも他は成功ほつとしました。祐太君、政輝君、愛未さん達の技能走行もみんなで一一生けん命応援しました。すべて終わり、結果発表です。「もし入賞できなかったらどうしよう。」と思い、心臓がドキドキしていました。「第六位、皆野町立国神小学校。」ワァー！大きな歓声が上がりました。みんな大喜びでした。信じられませんでした。すごく嬉しく、一生の良い思い出になりました。そして個人では黒沢祐太君が七位入賞でした。

交通安全全子供自転車大会と五



星野佑莉奈さん

月からの練習は、秩父警察の人役場の人、国神小の先生方、保護者の人のおかげでがんばれました。きびしい、でも楽しく嬉しい体験でした。
 (評) 六位入賞おめでとう！きびしかった練習の後の大きな喜びが伝わってきます。また一つ心に残る思い出ができましたね。



加藤奏良さん



(評) 左右のはらいがバランスよく書けています。